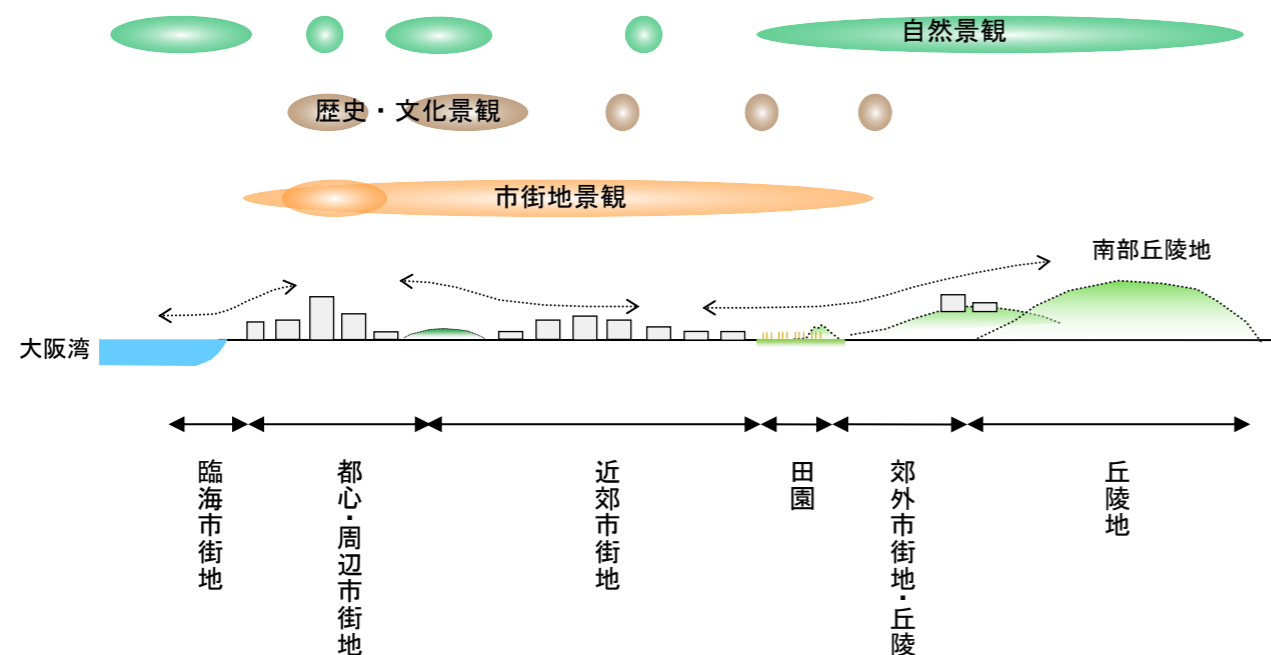


# 現行計画で位置づけされた景観構造等

## 堺市の景観構造とそのなり立ち

景観のなり立ちを「自然」「歴史・文化」「市街地」の3つの視点から読み解き、景観特性を記載

- 南部丘陵から台地、平地、海へとつながる「自然景観」
- 古代から中世、近世、近代そして現代が重なり合う「歴史・文化景観」
- 海から丘陵へと向かい形成された「市街地景観」



## 市街地景観特性（市街地のなり立ち）

・本市の市街地景観は、そのなり立ちにより異なる特徴を有しており、それらが重なり合い地域特性に明治期以前に形成された景観⇒戦前（昭和前期）までに形成された景観⇒戦後～高度経済成長期（昭和中・後期）に形成された景観⇒それ以降に形成された景観



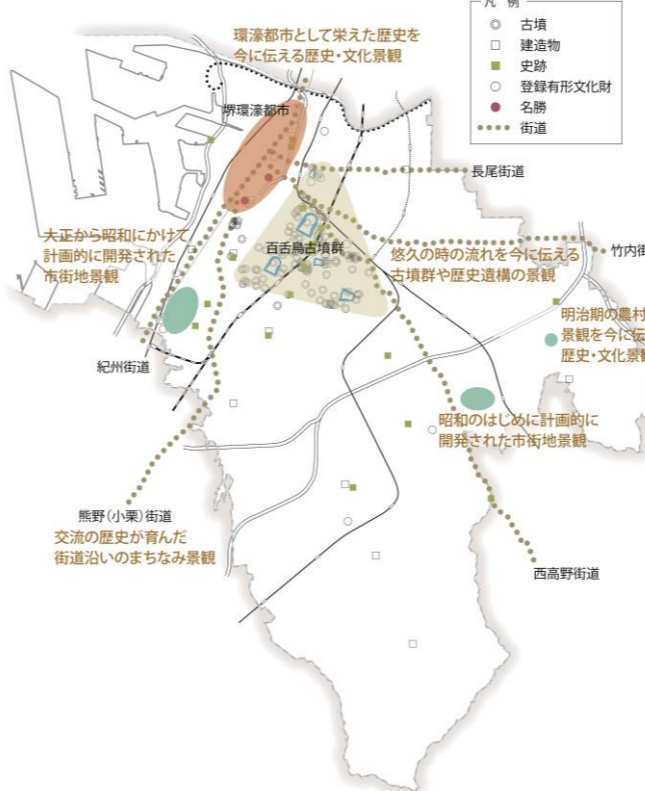
## 自然景観特性

- ・ 平野部と丘陵部によるなり立ち
- ・ 平野部にかけて流れる河川の流域にまち・農地が広がる
- ・ 各所に生活と結びついた自然が残る



## 歴史・文化景観特性

- ・ 歴史のある寺社や古木、そこで行われる祭礼などが受け継がれ地域のアイデンティティに
- ・ 古代から現代にいたる歴史の中で築かれてきた多様な歴史・文化資源が、重層的に市街地と共存



## 市街地景観特性（拠点・軸）

- ・ 市街化の過程で、駅前などを中心とした拠点の景観、あるいは幹線道路沿道・鉄道沿線の軸の景観が形成
- ・ 市の計画においても、拠点・軸が都市構造を構成する重要な要素として位置づけ

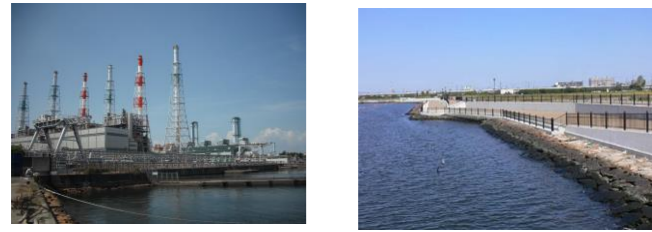


# 地域別景観形成方針

地勢、歴史、市街地形成の過程をもとに、市域を大きく7つの特徴ある地域に区分

## 【臨海市街地景観】

産業と環境が共生する躍動感ある臨海部の景観形成



## 【都心・周辺市街地景観】

古代から未来へ、風格とにぎわいある堺を代表する景観の継承と創造



## 【近郊市街地景観】

暮らしの中で歴史・文化、自然が織りなす多彩な景観の保全と創造



## 【田園景観】

丘陵地に沿ってなだらかに広がる田園景観の保全



## 【郊外市街地景観】

緑豊かな郊外住宅地景観及び田園と調和した集落地景観の保全



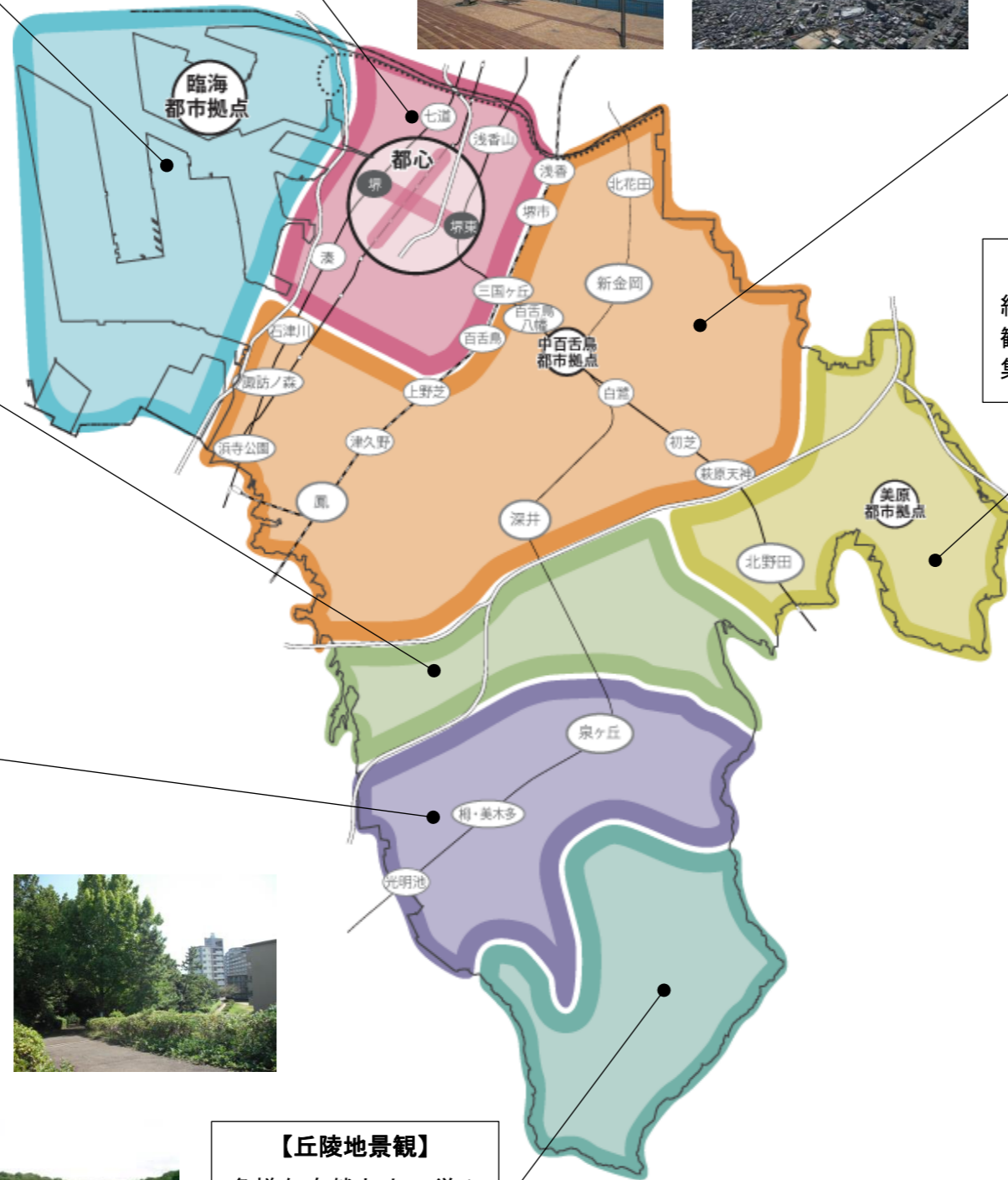
## 【丘陵市街地景観】

活力を感じる景観形成と緑豊かな郊外住宅地景観及び周辺の自然、田園景観の保全



## 【丘陵地景観】

多様な自然と人の営みが一体となった丘陵地景観の保全



(参考：堺市都市計画マスタープラン(令和3年7月改定)における都市構造図)

